

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月12日更新

事務事業名		中央公民館運営事業（協議会参画）					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局	課長名	上原哲也	
	施策	20	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	綾部朝子	
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発					所属班	生涯学習班	(内線)	1515	
予算科目		会計一般	款10	項5	目3	事業連番10944	法令根拠					
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	公民館事業のよりよい運営に資する事業。中央公民館が開館したとき、公民館の協議会に加入した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各レベルの公民館協議会に加入し、負担金を支払い情報誌や事業の資料を閲覧する。また公民館大会等に参加し、見聞を広め公民館活動運営の参考とする。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
公民館振興市町村負担金として10,000円。社会教育指導員、コミュニティ指導員など8名が県公民館大会に参加し、資料代として8,000円。		公民館振興市町村負担金 10,000円、熊本県公民館研究大会参加時資料代 1,000円×8人=8,000円	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 熊本県公民館研究大会参加職員数	人		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
公民館及びコミュニティ担当職員	人	⇒ ア 公民館及びコミュニティ担当職員	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
公民館事業の情報、知識を得る。	人	⇒ ア 熊本県公民館研究大会参加職員数	
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	人	人	5	5	8	8	8	8	8	
② 対象指標	人	人	8	8	8	8	8	8	8	(期間限定複数年度のみ記載)
③ 成果指標	人	人	5	5	8	8	8	8	8	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	15	10	18	18	18	18	
		(A) 事業費計	千円	15	10	18	18	18	18	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	18	18	18	18	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	
	トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	10	10	10	0	10	10	
		(B)人件費計	千円	40	39	39	0	41	41	
			千円	55	49	57	18	59	59	

事務事業名	中央公民館運営事業（協議会参画）	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 熊本県公民館研究大会に公民館担当職員、社会教育指導員ともに参加した。	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 熊本県公民館研究大会の開催予定があるため。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 職員の情報入手については、協議会に加入していることで確保しているが、研修機会については、財政難の折研修旅費が認められず、成果の向上まで及んでいないから。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はないため。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 負担金額は定額のため削減できないが、研修資料代の削減は考えられるから。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 担当職員は、他業務と兼ねて公民館活動業務を行っているため、これ以上の削減は難しい。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 担当職員の資質向上の成果は、公民館講座関係受講者全体の利益につながるため、公平公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 大会の参加等は住民や他の団体が行うべきものではないから。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

熊本県公民館研究大会に公民館担当職員、社会教育指導員ともに参加した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								